

平成 24 年度東北ブロック水産業関係試験研究推進会議資源海洋部会報告書

会議責任者	東北区水産研究所長
-------	-----------

- 1 開催日時及び場所 日時 平成 24 年 12 月 4 日（火）9 時～11 時 30 分
場所 宮城県庁行政庁舎 11 階第 1101 会議室（宮城県仙台市）
- 2 出席者所属機関及び人数 8 機関 23 名
- 3 結果の概要

議 題	結 果 の 概 要
1. 報告事項	
(1)平成 2 3 年漁業資源海洋部会に対する要望事項に係る対応状況	平成 2 3 年漁業資源海洋部会に対する要望事項はなかった。 東北水研資源海洋部長から、昨年度の部会以降の震災対応状況を報告した。
(2)平成 2 4 年度研究実施概要及び平成 2 5 年度研究計画概要	各道県機関及び東北水研資源海洋部から、それぞれの機関における水産資源、水産海洋及び漁場環境分野等の実施課題について、新規課題を中心に研究内容を紹介し、質疑を行い相互理解を深めた。 資源管理・漁業所得補償事業の開始に伴う各県資源管理協議会からの委託による調査船運航を含む調査研究の実施状況について情報を共有した。
(3)研究会などの活動状況	東北水研資源海洋部から、研究会等として、サンマ等小型浮魚資源研究会議、東北ブロック底魚研究連絡会議、海況解析技術研修会、水産海洋連絡会、海洋環境コロキウムの活動状況を報告した。 また、資源海洋部長より、東北水研で、水産海洋連絡会の規約の改正を進めており、近いうちに、各道県に案を示し、検討を依頼する予定であることが報告された。
2. 協議事項	
(1)平成 2 4 年度水産研究開発成果情報候補課題の検討	提出された関連分野の研究成果情報各課題の報告があり、検討した結果、以下の 3 課題を当部会における研究成果情報として承認することが合意された。 1) 仙台湾における淡水および海水の平均滞留時間の推定 2) 東北海域におけるサメガレイの成長様式および漁獲物の年齢構成の把握 3) 仙台湾魚類相の震災前後の比較

議 題	結 果 の 概 要
<p>(3)資源海洋部会に対する要望事項（研究ニーズ）の検討</p> <p>3. その他</p>	<p>宮城県水技センター及び北海道総研釧路水試から要望された「200トンクラスの調査船の表中層トロール網調査によるサンマ漁獲効率推定」及び「小型調査船によるサンマ中層トロール網の漁獲効率推定」について検討した。別紙の通り、対応方針を決定した。</p> <p>水研本部より、場長会から漁海況モニタリングの効率的運用に関する検討が水研本部に依頼される状況であることが報告された。具体的な検討課題が示された段階で、当部会でも検討してほしいと要望された。</p> <p>資源海洋部長から、平成25年に北太平洋公海漁業条約対応が発行見込みであることから、同条約対象魚種となるサンマやアカイカの資源評価の高度化、及び東日本大震災からの底魚漁業復興のため、平成25年度に当所資源海洋部の組織強化を予定していることが報告された。</p> <p>各機関における、震災対応に関する調査研究を進めている中、その進捗状況、成果の漁業者等への情報提供のあり方について情報交換した。</p>